



乙丸

僕専属

メイドが

言うことを聞かない

夜のご奉仕で主従逆転!?


【R18版】

5


僕専属メイドが言うことを聞かない  
～夜のご奉仕で主従逆転！？～

---

第5話




最初は  
ナマイキな女  
としか  
思わなかった



肌を重ねる  
ように  
なってからも


その印象が  
変わることは  
なかった



□うるさい  
性悪だし

主人への  
敬意なんて  
かけらもない

いつも  
やり込められて  
ばかりなのも  
気に入らなかつた



それまで  
気づか  
なかつた  
一面が

少しずつ  
見えてくる  
ようになって



その内  
段々と



でも

昔からずっと  
親が決めた  
相手と一緒に  
なるつもりでした

それなのに

そこに何の  
疑問も  
持たなかったのに

今は――



風が気持ちいい  
ですね！

わあ――！

オオオ

ああ

そうだな！

今日は  
メアリーと  
デートコースの  
下見に来ている





コースの  
下見……  
ですか？

ああ

エスコートの  
予習に相手役が  
いると助かるん  
だが――

かしこまり  
ました

そういう  
ことでしたら  
お供致します



メアリー

妻になって  
くれないか



坊っちゃんま……

悪い  
冗談は  
おやめ下さい



あの夜

メアリーは  
そう言って  
部屋を  
出て行った



勿論これは  
ただの口実だ

今回メアリーを  
連れ出した  
目的は  
ただ一つ――



これは  
気の迷いや  
勘違い  
なんかじゃない

メアリーだって  
それは  
分かってる  
はずなんだ



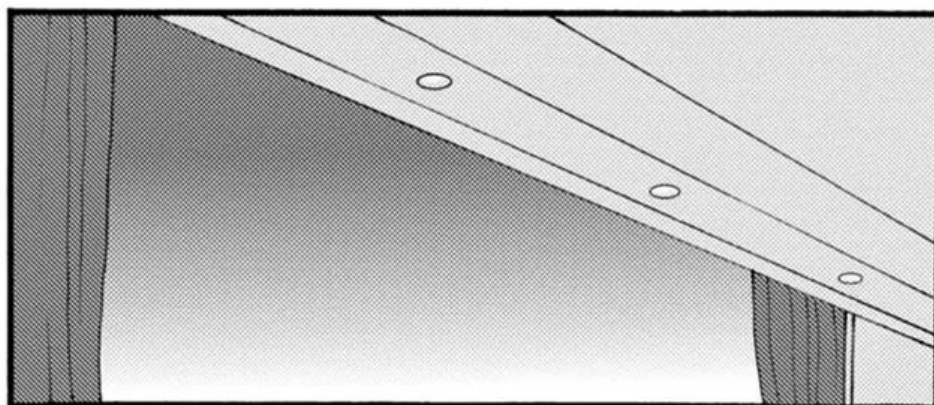
あれから  
数日――

メアリーへの  
気持ちは  
まるで収まる  
気配がない



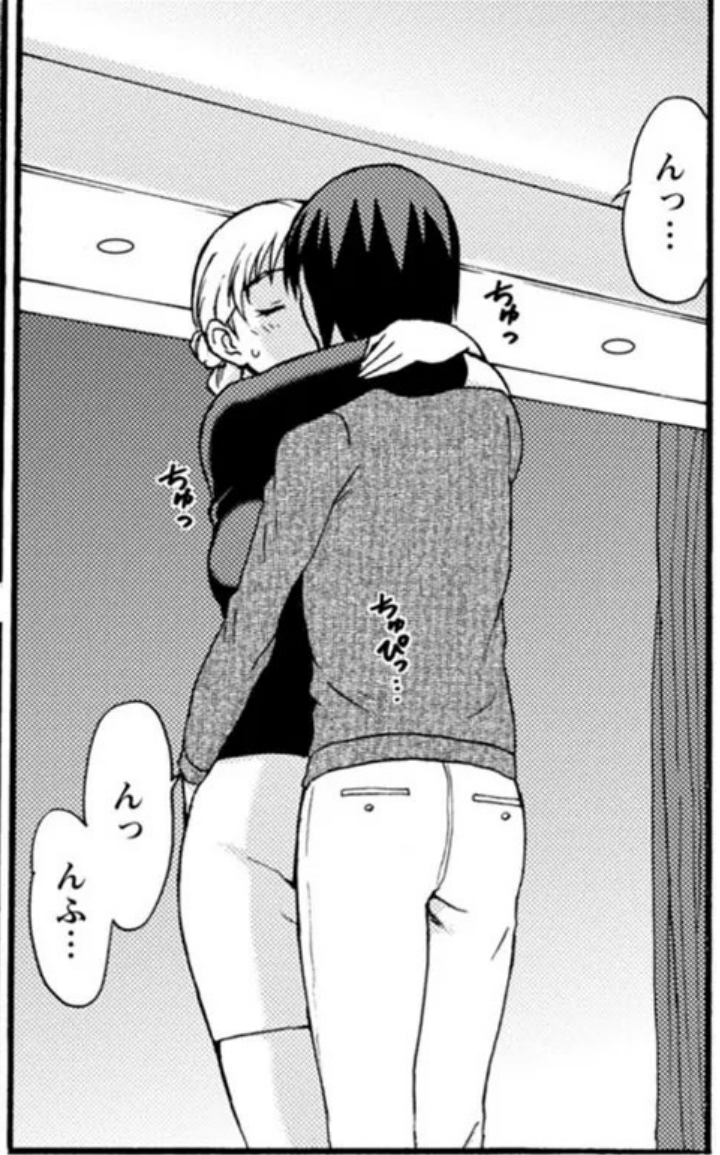
冗談なんかで  
終わらせて  
たまるか…

メアリーに…  
本気の気持ちを  
伝えるんだ!!

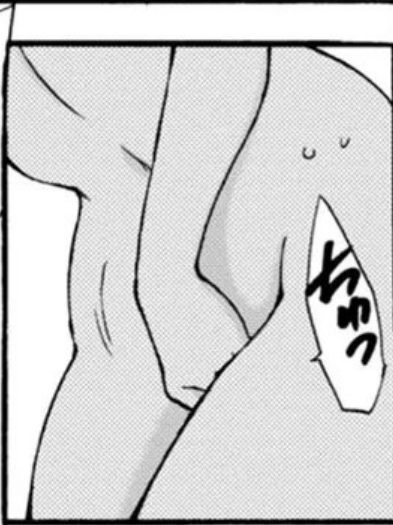


んっ

んっ  
んっ…



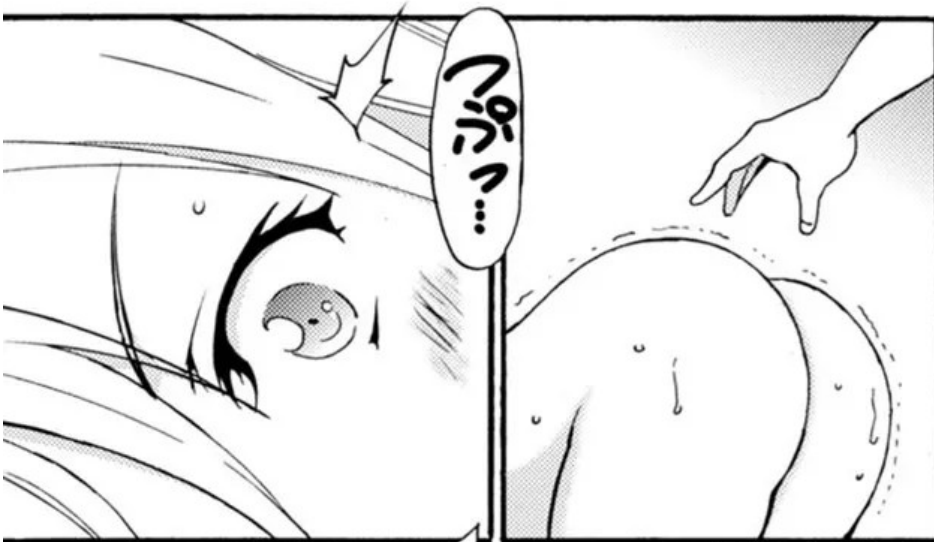


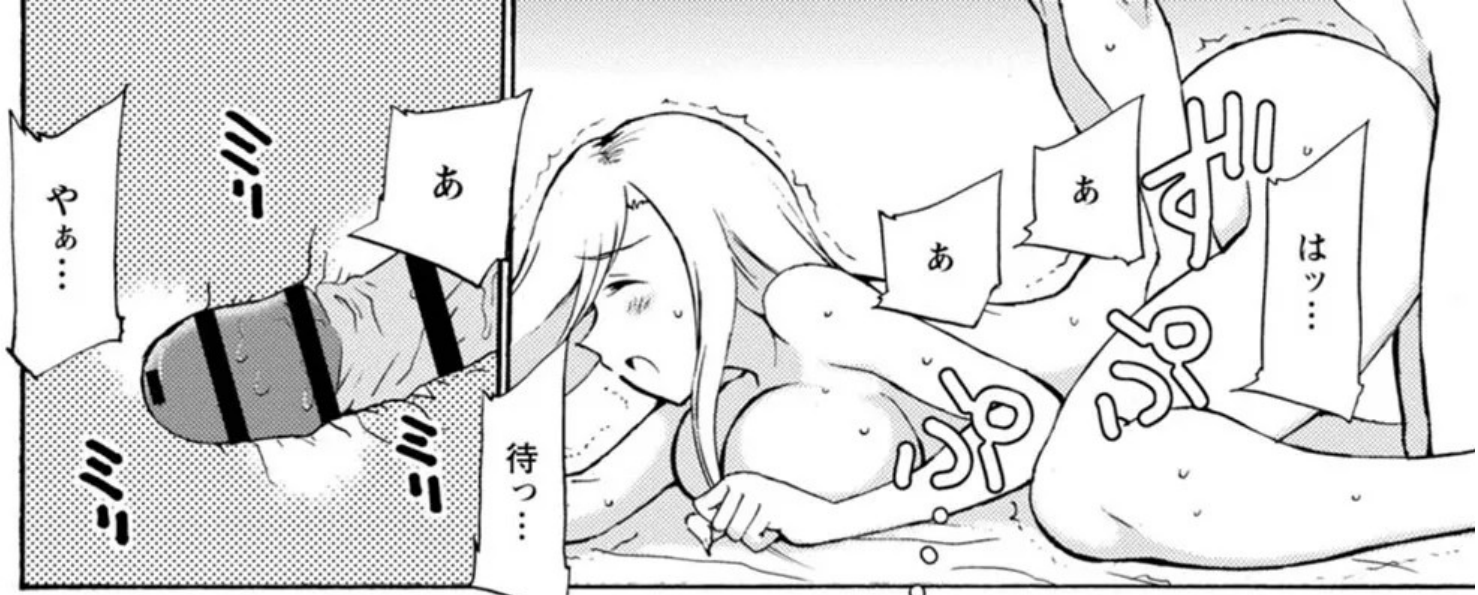












やあ...

あ

あ

あ

はッ...

待っ...

ニニニ

ニニニ

あッ

あッ



おんっ



くっ...  
しまる...

!!

あッ

あッ



はアッ!!

おんっ!



やっ...  
やあっ...

はっ

はあッ

中が...  
めくれて



あッ

あッ

あッ!

あッ

やはアッ

あッ

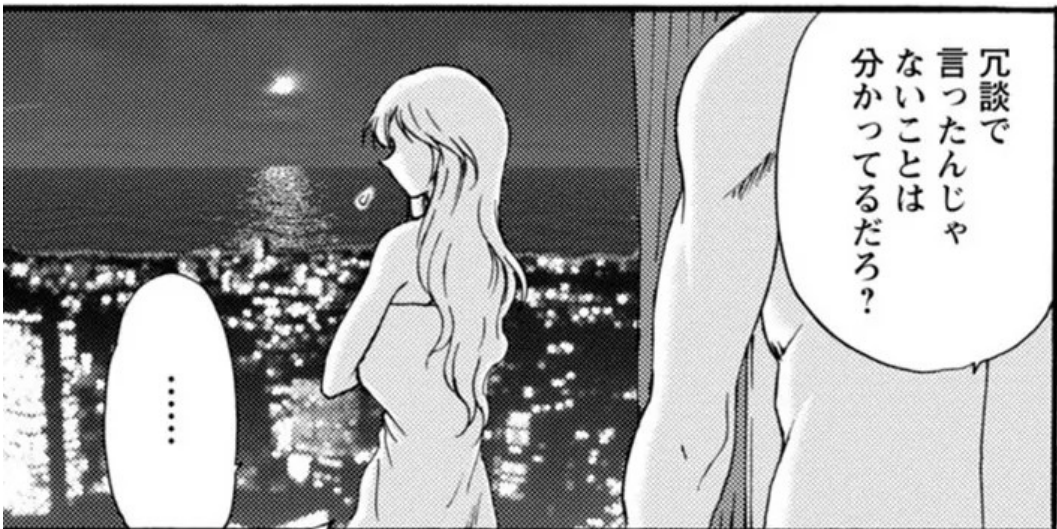






あの夜の返事を聞かせてくれないか

メアリー



冗談で言ったんじゃないことは分かってるだろ？

……



メアリー…  
ボクは決していい主人じゃないかもしれない

ワガママで高飛車で…皆からはきつと嫌われてるだろう

でもこの気持ちだけは本物なんだ!!



…申し訳ありません

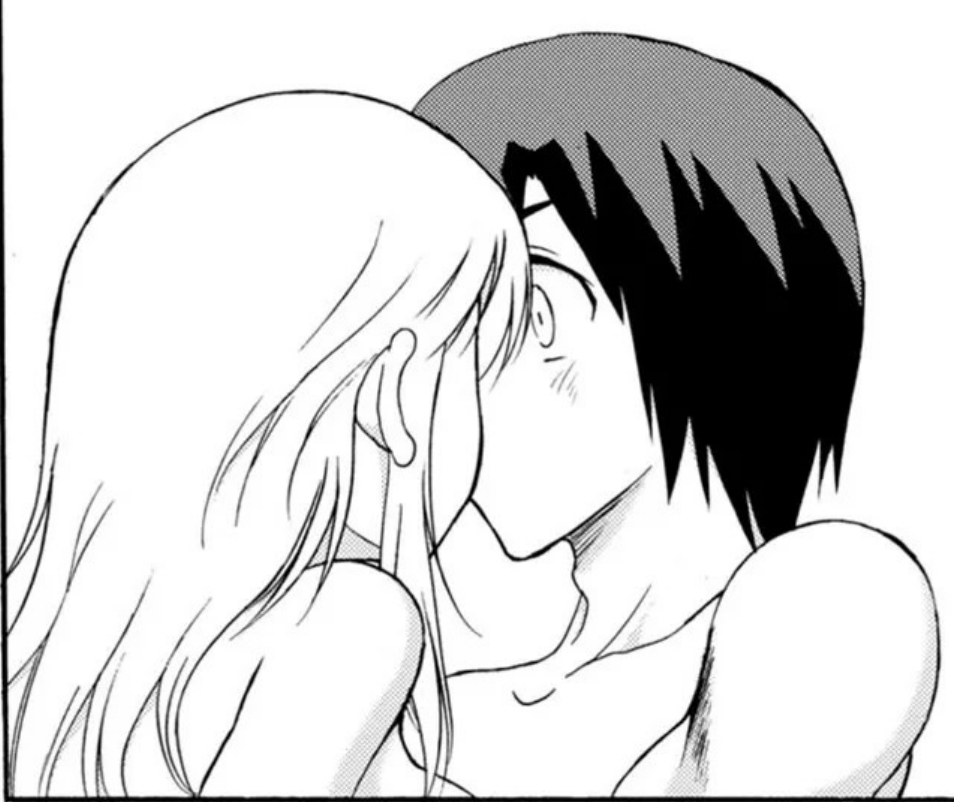
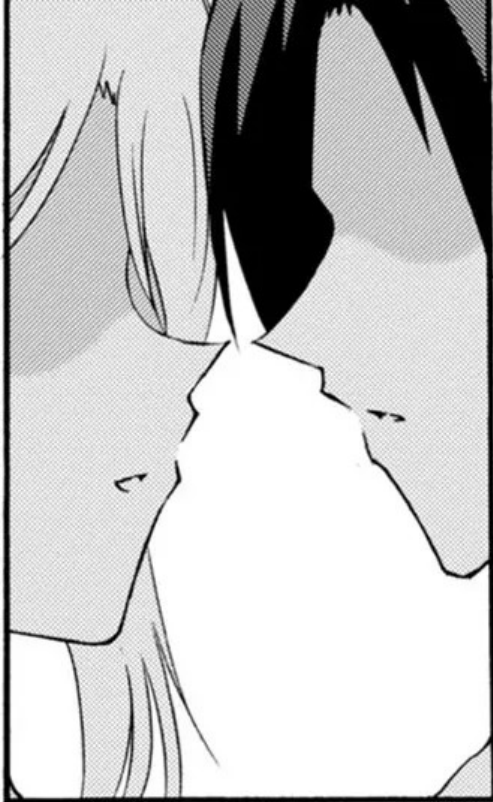


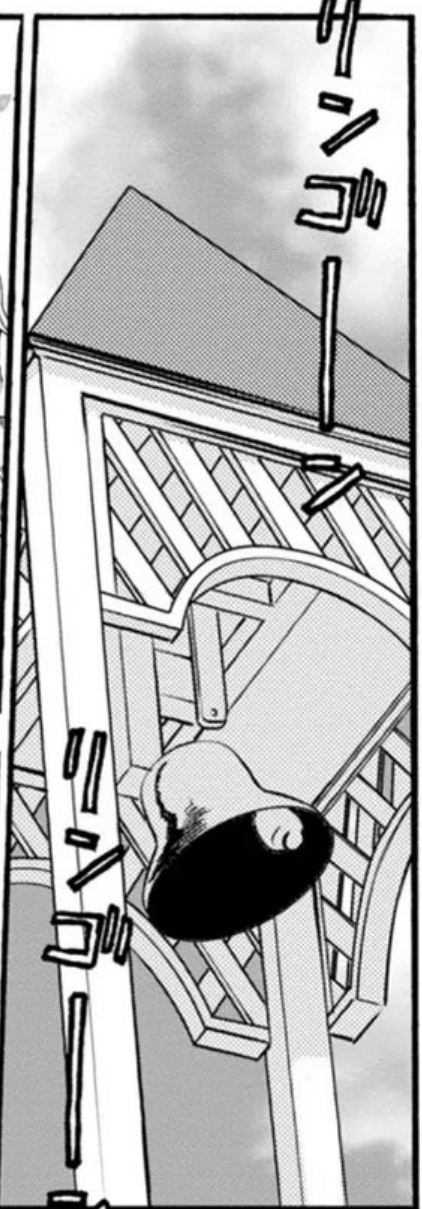
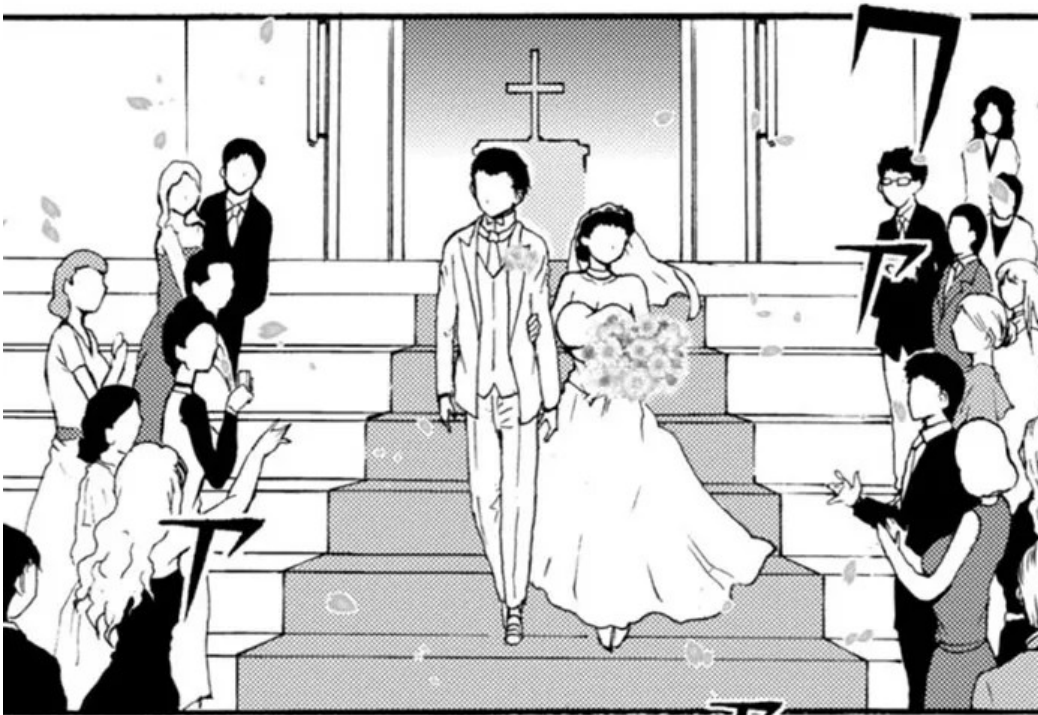
雄一様のお気持ちにお応えすることはできません

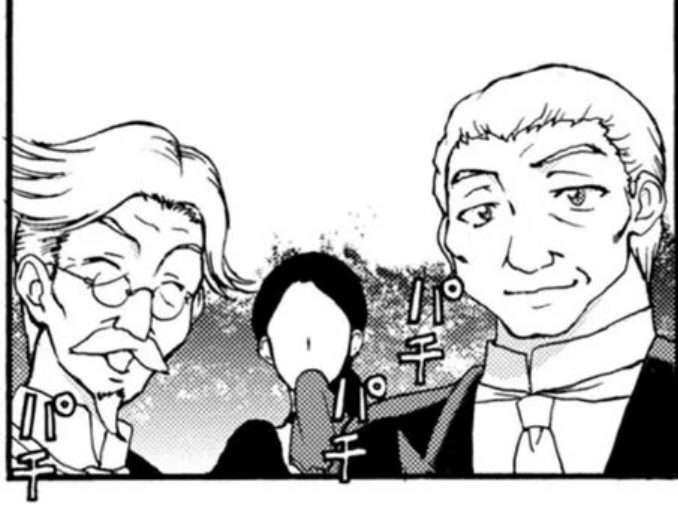


ボクはもうお前のことしか考えられない

必ず幸せにする!!  
だから









ん…

んっ

んっ



…どうかした？

ごめんなさい

何だか…  
夢みたいで



んっ

んっ



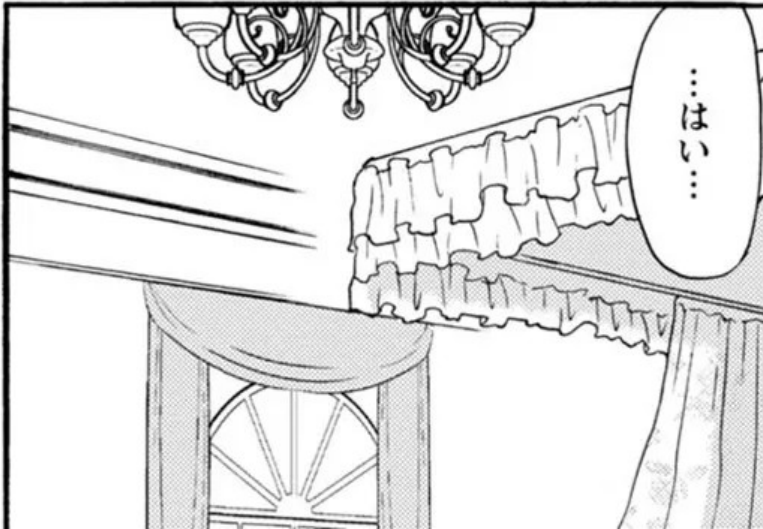
…大丈夫

ボクに任せて  
くれれば  
心配ないから



ずっと…  
こうなることを  
心待ちにして  
ましたから…

ボクもだよ



…はい…



あんまり…  
見ないで  
下さい

は…  
はずかしいです



そんなことは  
ない…  
とても  
キレイだよ

そんな…



お上手ですよ  
坊っちゃん

…  
…  
…



あ…



ん…









*to be continued*

**僕専属メイドが言うことを聞かない  
～夜のご奉仕で主従逆転!?!～**

**【R18 版】**

**⑤**

**乙丸**

© 乙丸 / 秋水社 ORIGINAL